

(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322



日頃より峰岸商会をご愛顧頂きまして誠に有難うございます。猛暑が続いておりますが今年は命にかかわる危険な暑さに警戒するようとの注意喚起がなされています。お客様におかれましては万全の対策を取られますようお願い申し上げます。今回の鋼魂は、2年に一度開催される国内最大級の工作機械とその関連機器等の展示会であり日本国際工作機械見本市(JIMTOF)についての説明と開催に至るまでの経緯を簡単ではありますが振り返りたいと思います。

(生産加工部 小林)



＜編集者＞

塚原 望月 村松 赤木 山田
佳由 博隆 貴 健三 幸平

鋼種 Q & A ~JIMTOFについて



日本国際工作機械見本市【JIMTOF(Japan International Machine Tool Fair)】は1962(昭37)年に大阪で第1回が開催されており、近年は2年毎に東京ビックサイトで開催されており、日本国内にとどまらず海外の関係業者も出展を行っています。日本で初めて機械が展示されたのは1877(明10)年の「内国勸業博覧会」で足踏み旋盤など数台が出品されていました。戦後日本経済が立ち直って行くにつれ内需喚起や輸出振興を目的とした見本市の開催が求められるようになり、1954(昭29)年に工業製品全体を出展対象とする「日本国際見本市」が開催されました。当時は大阪・東京で毎年交互に開催されていましたが、回を重ねるにつれ出展面積の確保が困難な事や増加する来場者への対応、さらに毎年開催では製品開発が追い付かない等の問題が出てきました。これらの問題に対処すべく関係各所で協議が重なられた結果現在の開催形態となりました。大阪での第1回開催を皮切りに2年に1度東京と大阪で交互に開催され2000(平12)年の20回から東京ビックサイトに会場が固定されています。今年は第29回をかぞえ、11/1~11/6に開催されます。近年は工作機械、切削工具の展示にとどまらず様々な業種の出展も増え工作機械を取り巻く環境の視野の広がりを感じ取る事が出来ます。海外のブースも回を追うごとに増え続け国際交流の一端を担っております。国際見本市としての今後の動向に注目して行きたいと考えております。



JIMTOF 2018 第29回 日本国際工作機械見本市



★社長のワンポイント★ 例年に無い猛暑日が7月から続いております。現場に関して40℃越えは当たり前になって、様々水分補給だけでは無く、不規則休憩時間の対応また、作業着の改善等で対応に苦慮しております。皆様いかがお過ごしでしょうかこの猛暑は世界でも同様にインドでは50℃越える地域もあるとのこと。生産国でもある日本今後どのような対応が出来るのか、思案のしどころです。さて、今年も後半戦に突入致します。半期を振り返って、半導体市場の盛況な部分が合ったと思われませんが、どうも後半戦の戦い方・方向性が今ひとつのような感じがします。政治の部分米国との自由貿易という領域で、強権発動している米国の自動車産業における輸入制限。日本の自動車メーカーかなり激しい攻防になっていると思いますが、当社の扱っている特殊鋼に関して、関税率を上げるとのことで、まだ決定ではありませんが厳しい環境です。米国では特殊鋼材料、SUJ2はじめSKD11等々日本製を多く使用して、米国内ではスタンダードな製品として市場に出ています。当たり前に通に使用していた材料です。それを使用出来ないような価格にすると言う事???米国市場の製造業かなりの障害出てくると思います。全体最適という事遠い話となっています。米国が一番という大統領の政策は理解出来る部分と出来ない部分があるのですが、自国民にとって何か一番なのか・私達も含めて、色々考えなくてはならない「時」なのかも知れませんね。TPPに関してTPP11(シンガポール・チリ・ニュージーランド・ブルネイ・オーストラリア・ベトナム・ペルー・マレーシア・カナダ・メキシコ・日本)ということで始まります。大きな経済圏で今後輸出入製品の関税率撤廃となり、大きな市場が生まれまた更に、他国の安い製品も・・・日本の本来の安心安全をどのように、アピールしていくのか重要な「時」ですね。いずれにしても後半戦さらなる知恵と実践で勝負です。

★国中エリア 塚原★
厳しい暑さが続いております。室内で作業をしているからと安心せず、水分補給を行い体調管理に気を付けて下さい。国中エリアの7月動向ですが半導体の製造関係が5月から少しづつ稼働が落ち着きつつありましたが、7月になると調整等が重なり稼働ペースがだいぶ下がってしまいました。9月の内示は出ているようですので再び高稼働になって行くとの話は聞いております。車、トラック関係では6月に少し落ち着きましたが、7月に入り偏り感がありますが非常に忙しくなってきました。切削メーカーでは依然として需要と供給のバランスが取れておらず、まだまだ安定した動きにはなっていないようです。今年の暑さは非常に厳しいので熱中症対策はしっかりと行ってください。

★郡内エリア 望月★
連日の猛暑で疲れが蓄積されているかと思えます。熱中症などに注意して頂きながら、しっかり体を休めるようにして下さい。郡内の動向ですが、半導体関係のT社においては落ち着いております。9,10月も同じ様に仕事量も変わらないと情報がありました。下手すると年内はこんな感じではないかと言う事です。他の半導体では、まだ動きがあるそうです。工作機械では、MC系は落ち着いており調整に入っているとの事。ロボット系は好調をキープしています。トラック系はメーカーによってかなりのひらきがあり、仕事量にも影響がでています。食糧関係は好調をキープしています。ヒートシンク系は6月に仕事量が激減しましたが、7月から徐々に稼働してきているとの事。統計では猛暑の後の秋は購買意欲の低下が起きるそうです。今後の動向に注意していきたいと思っております。

★上野原エリア 山田★
8月に入りまだまだ猛暑が続くと思われまして、エアコンを使用したり、水分補給を細目に行い熱中症などに気を付けて頂きたいと思えます。動向ですが、上野原エリアは好調だった半導体は依然として増減や、部所間での差は有るものの好調な様です。その他の業種のトラック関係、医療関係でも大きな動きはないようです。東京、埼玉、神奈川方面も上野原と同様に半導体が引っ張って行く感じになっています。両エリア共好調な様に見えますが、業種により差が出ていることも事実です。しっかりと見極め情報を発信して行きたいと思えます。今年の夏は猛暑、猛暑と連日報道されておりますのでくれぐれも気を付けて頂きたいと思えます。

